

江別市民文化祭 69

# 第43回 江別こども文化祭

●令和4年11月20日  
●えぼあホール



- 出演団体は
- ① 江別児童合唱団
  - ② 江別子ども演劇クラブ
  - ③ オカリナ・クオーレ（江別市高齢者クラブ連合会・賛助出演）
  - ④ 北海道中国武術倶楽部
  - ⑤ 江別ジュニアオーケストラ
  - ⑥ 江別見晴台鼓楽会 豊太鼓
  - ⑦ 文京台一輪車クラブ
  - ⑧ ふぞろいな輪ごたち の八団体です。今回は嬉しいことに江別見晴台鼓楽会 豊太鼓が初出演。素晴らしい演奏を披露しました。
- コロナ禍での文化祭も三年目で、過去二年同様、実行委員では様々な対策を考

え、協力し、安全で楽しい文化祭を目指しました。具体的には指定席券のみの入場券販売、受付での検温、マスク着用＆手指の消毒確認、ホールへの入口指定、出演者の通路確保などです。無事に開催はできましたが、コロナの影響で出演できなかつた子どももいました。

今回は小学校の学級閉鎖や学校閉鎖などが度重なり、練習もままならなかつた団体もありました。そんな中でも子どもたちは「輝かそう 自分の笑顔で このステージを」というこども文化祭のテーマの通りみんなの一人一人の笑顔でステージを輝かせていました。

（実行委員長 川守田）

江別市民文化祭 69

# 洋舞・演劇 フェスティバル

●令和4年11月3日  
●江別市民会館 大ホール

たくさん「よかった」を胸に

二〇二二年十一月三日、江別市民会館にて「第三十六回 洋舞フェスティバル」を開催しました。今回もできる限りのコロナ対策をした上で「昼の部（第一部）のみ」の公演としました。僅かずつではありますが、新型コロナウイルスの影響も少なく、前回よりも出演団体が増えました。元通りには程遠い状況ですが、実に一歩ずつ前進していることを実感しております。

まだまだ何かと思いつりに行かない中で振付、練習、リハーサル、準備を重ねて迎えた本番当日。久しぶりにマスクを外して人前に立つ緊張感の中、キラキラした笑顔で踊っている姿をたくさん見ることができました。「ステージがあつてよかった」「続けてきてよかった」「出演できてよかった」「観ることができてよかった」という喜びの声をたくさん聞くことができました。開催できたことを何よりも「よかった」と感じた瞬間でした。かけがえのない時間をかけがえのない仲間と共有する。たったそれだけのことが当たり前ではなくなつて早三年。あら



### ■ 出演団体

1. UnTraitor
2. 大麻ジャズダンススタジオ
3. iris ダンスクラス
4. 石川みはるバレエ研究所大麻支部
5. Smile ArtDance Company
6. ハイビスカス・フラサークル
7. iris チアダンスクラス
8. ビューパレエコンチェルト大麻サークル
9. Jast"K"ids
10. マインド Jr. マーガレット

ためて本当に大切なことなのだと感じています。洋舞フェスティバルが無事に開催できたのは多くの皆様の支えがあつてこそだと思っております。これからも感謝の気持ちと初心を忘れずに、さらなる成長した姿でお会いできることを祈りながら日々の練習に励んで参ります。最後になりましたが開催にあたり感染対策など様々なことにご協力くださった皆様にご場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。（洋舞ブロック代表 坂井 亮治）

江別市民文化祭 69

## 市民合唱祭

令和4年10月9日  
●江別市民会館  
大ホール

市民文化祭開会式の後に最初に開催されるのはいつも合唱ブロックの市民合唱祭です。コロナ感染の影響で二年間に亘って開催出来なかった五月の「合唱の輪」と十月「市民合唱祭」は、前年度は開催出来ると信じて準備を進めて来ましたが、結果的に感染の高まりや団員が揃わない、練習不足などでやむなく中止という結果になりました。

今年度は十月の開催のために合唱ブロック会議を四回開催し周到な準備をして、計画通り十月九日に開催することが出来ました。三年前までは十四、十五団体約三〇〇名の出演者、観客約四〇〇名と総勢七〇〇名程度の入場者がありました。今年度の参加は十団体（文化協会加入八団体、一般応募団体・学校の二団



体）約二〇〇名の出演者、約二二〇名の観客で総勢四〇〇名程度の入場で少し淋しい参加人数でありました。コロナで各団体が団員の退会などで減少したり、十分な練習が出来なかったりして、出場が叶わなかったことはとても残念でなりません。

今回の演奏曲目のジャンルは中山晋平作曲を始め、日本を代表する合唱の作曲家・編曲者である大中恩、新実徳英、湯山昭、信長貴富、木下牧子、横山潤子、源田俊一郎など各氏による日本の歌、民謡、現代曲、ポピュラー曲、クラシック、ヨーロッパのホームメドレーなどの幅広い約三十曲の演奏には馴染みの曲もあって、観客の皆様は大いに楽しんでいただけたのではないかと思います。

出演された団体・団員からは三年ぶりにステージに立ち演奏会で歌えるという喜びに感動した方が多く見られました。またお客様からは久しぶりに各団の持ち味を生かした良い演奏を聞かせてもらったと力強い反響をいただきました。主催者としては開催の苦労がありました。多くの方に喜んでいただいたことに

江別市民文化祭 69

## 江別市野幌太々神楽 伝承会発表会

●令和4年10月23日  
●野幌公民館



大変嬉しく満足しています。いつもですとオープニングとエンディングでは会場の皆さんと団員とが一緒に楽しく歌う場面がありました。普段の練習や今回の発表会はマスク着用でステージに上がっていることから、感染予防のために中止せざるを得ませんでした。

た。コロナ禍の状況下にあっても会場に足を運んでくださった市民の皆様には深く感謝いたします。一日も早くマスクなしで練習や演奏会が出来ることを、そして会場の皆さんと一緒に歌える日が来ることを期待しています。

（合唱ブロック代表 西川 勉）

第二十一回 野幌の舞は令和四年十月二十三日（日）野幌公民館で開催された。観客百三十三名、出演者ほか五十名、総勢百八十三名の参加者となった。

今年度は長年伝承会を支えてくれた佐々木岩雄さんが亡くなり会員一同悲嘆に暮れたが、入会者や楽を学びたい子供も増え、稽古には一層力が入った。例年行っていた餅撒きを行わなかったものの、お米二十組の抽選会を行いコロナ以前を思

い出させる盛り上がりを見せた。

お祭りなどが中止で神楽を披露する場が無いなか、子供会員の保護者によるインスタグラムのつながりで十一月二十一日（土）えみくるで行われたえっぴキッズアートフェスに急遽出演することになった。初めて神楽を見る人、江別に神楽があることを知らなかった人とふれ合い、伝え続けていくことの大切さをあらためて感じる事ができた。